



- No.55 -

令和4年8月24日発行
群馬県中学校長会
会長 林 恭祐
前橋市文京町二丁目19-18
電話 027(223)7158



暗い話題が多い中ですが

群馬県中学校長会長 林 恭祐

昨今、緊迫した世界情勢やコロナ下における暗い話題が連日報道され、学校現場においても新型コロナウイルス感染症との戦い・共存が続いています。なかなか明るい見通しが立たず、常に心配をしながら、そして迷いながらの学校経営となっています。そのような中ですが、登校してくる生徒たちはとても元気です。マスクや黙食など制約のある学校生活をむしろ当然のように送っています。今後も困難な状況は続きますが、やはり私たち校長の使命は「生徒が安心して思いっきり自分を伸ばせる」学校づくりをしていくことです。県内157名の校長先生方、群馬県中学校長会に脈々と流れる「和の心」を継承し、県内それぞれの中学校の子供たちが、「安心して思いっきり自分を伸ばせる」そんな学校づくりに一緒に邁進していきましょう。

さて、5月11日に開催いたしました第76回定期総会並びに研究協議会では大変お世話になりました。コロナ下となって3年目、皆様のご理解とご協力により参集型にて開催できましたことに改めて感謝を申し上げます。学校におい

ては新学習指導要領が全面実施となり、目の前には様々な課題が山積しておりますが、新しい時代に求められる学校づくりに向けて、各学校の校長先生方がリーダーシップを発揮できるよう定めた今年度の本会の三つの基本方針を改めてお示いたします。

1. 本会の目的である「県下中学校長間の緊密な連絡提携を図り、中学校教育の振興に寄与すること」の達成に向けて、本会の組織と機能を充実させる。
2. 県中学校長会の存在意義を踏まえた主体性を発揮するとともに、県教育委員会及び関係諸機関等との連携を深め、学校教育の課題への対応と改善を図る。
3. 校長の学校経営力を高め、県民の信託に応える中学校教育の創造に努める。

以上の基本方針に沿い、各専門部・委員会活動を中心に進めるとともに、理事研修会の活動を通して中学校長会を挙げた取組を展開していきたいと考えています。一年間、よろしくお願いいたします。

第73回全日本中学校長会 Web 総会に参加して

書記 荒井 学

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、第73回全日本中学校長会総会は東京都の全日中会館からリモート会議システムを活用して、全国へ配信するWeb総会として5月18日（水）に開催されました。本県では、会長、副会長2名、総務部長、書記2名、計6名が各所属校から参加しました。

開会後は、宮澤一則会長の挨拶に続き、令和4年度表彰楯受領者が紹介され、練馬区立大泉中学校長新村紀昭元理事が代表して受領されました。

議事では、令和3年度会務報告・令和3年度会計報告・監査報告が行われ、さらに令和4年度の役員が承認されました。新役員を代表して、平井邦明会長（東京都台東区立忍岡中学校長）が挨拶され、その中で全日中新教育ビジョンの推進について触れられました。その後、令和4年度活動方針や予算の提案・承認、令和5年度第74回全日本中学校長会研究協議会の開催地（大分県）の承認と研究主題及び分科会研究題

の提案、第73回全日本中学校長会総会における「宣言・決議」の提案が行われました。さらに、本年度の第73回研究協議会北海道大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からWeb開催にて実施することが承認され、すべての議事の審査が終了しました。

午後は、宮崎活志文部科学省主任視学官より「最近の初等中等教育の動向」について、GIGAスクール構想の推進や教師の資質能力の向上、学校の働き方改革への対策など、これからの学校教育への様々な施策等について御講演をいただきました。

また、文部科学省行政説明では、教育課程課からは学習指導要領の実施等について、財務課からは小学校高学年の教科担任制推進等と学校の働き方改革について、スポーツ庁地域スポーツ課からは運動部活動について、児童生徒課からはいじめ・不登校への対応について、教育人材政策課からは教師の資質能力の向上等について説明があり、すべての日程が終了しました。

教育情報部

県内の教育情報の収集と

情報提供

部長 三原一志

1 活動方針

- (1) 県中学校長会の活動方針を踏まえ、県中学校教育の課題解決に資するための必要な教育情報の収集及び処理を行う。
- (2) 全日本中学校長会の『中学校教育に関する調査』の作成に協力する。
- (3) 県内中学校の教育課程編成等に関する調査を行い、群馬県の状況を把握する。また、調査結果をもとに『群馬の中学校教育』の編集・刊行を行う。

2 活動内容

- (1) 県内中学校に、「令和4年度教育課程編成等に関する状況調査」を実施し、『群馬の中学校教育』（令和4年度版）の編集・刊行を行う。

- (2) 全日中教育情報部の諸活動に幹事県として参画し、調査協力や『中学校教育に関する調査』の作成を行う。

- (3) 『全日中学校研究便覧』（第35集）の刊行に協力する。

3 主な活動計画

- 第1回部会 活動方針・組織編成、活動計画の検討 4月15日
- 第2回部会 教育課程編成等の調査内容、「群馬の中学校教育」編集方針検討 6月7日
- 第1回常任委員会 調査内容、「群馬の中学校教育」編集方針決定 6月23日
- 第3回部会 調査用紙の集計作業（各郡市単位）、メールで集計データ送付 10月5日
- 第4回部会 集計及び執筆分担確認 10月14日
- 第2回常任委員会 原稿最終校正 11月22日

教育研究部

新たな時代を切り拓き、よりよい社会を
創り出していく日本人を育てる中学校教育

部長 石川 雅規

1 活動方針

- (1) 群馬県中学校長会全体研究協議会の企画・準備・運営に努める。
- (2) 校長会として、新学習指導要領の全面实施に関する課題の解決に努める。
- (3) 郡市の共同研究の計画的推進に努める。
- (4) 学校経営及び学力向上に関する調査研究の充実に努める。
- (5) 令和4年度関東地区中埼玉大会、令和4年度全日中北海道大会の支援・協力に努める。

2 活動内容

- (1) 群馬県中学校長会全体研究協議会の企画・準備・運営
- (2) 各郡市の共同研究への支援・協力
- (3) 学校経営及び学力向上に関する調査研究の実施・分析・報告
- (4) 関東地区中埼玉大会、全日中北海道大会への参加、全日中教育研究部活動への協力

3 活動計画

- 教育研究部会（全6回実施）
4/15、6/21、9/2、10/5、10/27、1/13
- 第74回関東地区中埼玉大会（6/16・17）
提案者 渋川市立古巻中学校
高橋 充 校長
- 第73回全日中北海道大会（10/20、21：本県より13名参加予定）

人事給与対策部

職責に見合う

待遇改善の実現を目指して

部長 西田 修

1 活動方針

令和4年度の群馬県中学校長会の活動方針に基づき、「社会を生き抜く力」を育む中学校教育を推進するため、教員の職責に見合った待遇改善の実現を目指して活動する。

- ①学習指導要領の実施をさらに推進するための中学校教員の定数改善
- ②生徒指導や特別支援教育等の教育課題に対応するための人的配置の充実
- ③中学校教員の諸手当の増額と退職時の処遇改善
- ④中学校教員のゆとり確保のための業務改善
- ⑤教員の任用、配置、評価等の改善・充実
- ⑥義務教育費国庫負担制度、教科書無償給与制度及び人材確保法の堅持

⑦福利厚生のための諸条件の改善

2 活動計画

- 4月15日（金）第1回部会
「組織・活動方針・活動計画等の決定」
- 5月24日（火）第2回部会
「提言書の素案検討と管理職名簿の校正」
- 6月15日（水）小中合同研修会・部会
「人事・給与に関する研修」「提言書案の検討」
- 6月15日（水）小中合同正副部長会議
「提言書の原案作成」
- 6月29日（水）第2回中学校理事研修会
「提言書の原案検討・最終案の作成」
- 8月3日（水）県教委との意見交換会
「県への提言書の提出と意見交換」
- 10月26日（水）第4回中学校理事研修会
「県からの提言書の回答の報告と検討」
- 2月3日（金）小中合同部会
「まとめ、令和6年度提言書案の作成・検討」
- 2月3日（金）小中合同正副部長会議
「今年度の総括と令和5年度に向けた展望」

生徒指導部

生徒指導に関する研修と

啓発に努める

部長 橋爪 幸雄

1 本年度の活動方針

令和4年度県中学校長会活動方針の1つである「生徒の自己指導能力の育成を図る生徒指導、並びに不登校やいじめ等生徒指導上の課題解決に向けたチーム学校の推進に資する研修と

啓発を行う。」に基づき、校長としてリーダーシップを発揮し、生徒指導が学校全体として組織的・計画的に機能し、家庭や地域及び関係機関等との連携・協力を図れるよう努めたい。そのために、当面する生徒指導上の課題への対応策・解決策について実践事例を持ち寄って協議し、適正な生徒指導の在り方と多様な問題への対応に関して研修を深め、啓発に努めたい。

また、県小学校・中学校教育研究会と連携して、「生徒指導部会研究大会（講演会）」に参加し、

心を育てる積極的な生徒指導や新しい生徒指導上の課題の解決方法等を学び、啓発に努めたい。

2 本年度の活動内容

県内の中学校及び中学生に関わる生徒指導上の新しい課題について、情報を交換し合い、対応策・解決策に関して協議し、生徒指導の実践に生かす。

- (1) 生徒指導上の諸課題に関わる事例研究・発表・協議を通して生徒指導についての研修を行う。
- (2) 県小学校・中学校教育研究会と連携し、生徒指導に関わる研修会や講演会への参加

を通して、心を育てる積極的な生徒指導や新型コロナウイルス感染症にかかる対応等、昨今の社会情勢等を踏まえ、一層複雑化・多様化している新しい課題についての情報等を学び、啓発に努める。

3 活動計画

- ・4月15日（金）第1回部会（組織、方針）
- ・9月7日（水）第2回部会（事例研究2事例）と協議
- ・10月18日（火）第3回部会（講演会）（小・中学校教育研究会との「合同研修会」）
- ・2月10日（金）第4回部会（まとめ）

進路指導部

進路指導上の諸問題の積極的な改善の推進

部長 高橋 博

1 活動方針

- (1) 進路指導上の諸問題を積極的に検討するとともに、キャリア教育の充実に努める。
- (2) 過年度における活動の成果及び課題をもとに、継続的な実践活動を推進する。

2 活動内容

- (1) 個性を生かす進路指導の計画的な推進
- (2) 進路指導に係る諸課題の改善・充実
- (3) 関係諸機関・団体との連携活動

3 活動計画

- 第1回進路指導部会 4月15日（金）
組織編成・活動計画
- 群馬県就職問題検討会議 4月27日（水）

○第1回常任委員会 5月12日（木）
私立高校入試への要望等のまとめ

○第2回常任委員会 6月3日（金）
公立高校、県教委への要望等のまとめ

○七都県高校進学問題研究協議会
6月21日（火）
各都県の関係者との情報交換

○第2回進路指導部会 6月22日（水）

○私立中学高等学校協会との連絡協議会
6月22日（水）

○第3回進路指導部会及び研修会
7月5日（火）

講師：群馬県教育委員会高校教育課指導係
○第4回進路指導部会及び高等学校長協会と
情報交換会 8月4日（木）

○第5回進路指導部会 10月5日（水）

○第6回進路指導部会 2月10日（金）
活動の反省、次年度の準備

編集部

広報活動のさらなる充実を目指して

部長 岩井 善彦

1 活動方針

- (1) 本会の諸活動について、理事会などを通じて会員への徹底を図るとともに、広報活動の一層の充実に努める。
- (2) 国・県の教育行政の動向及び全日本中学校長会等の活動状況に関する情報の早期提供に一層努める。

2 活動内容

- (1) 会報55号の発行（8月下旬）
A 4版 8頁 530部
- (2) 会誌60号の発行（2月下旬）
A 4版 90頁 500部

3 活動計画

(1) 第1回部会 4月15日（金）
組織編成、活動方針・計画等の検討
会報55号編集作業の確認

(2) 第2回部会 5月12日（木）
会誌60号編集作業の検討

(3) 第1回常任委員会 7月5日（火）
会報55号最終校正、会誌60号原稿依頼の確認等

(4) 第3回部会 8月24日（水）
会報55号配布作業、会誌60号原稿依頼の最終確認等

(5) 第4回部会 1月12日（木）
会誌60号校正、次年度の方針、計画等の検討

(6) 第2回常任委員会 1月26日（木）
会誌60号最終校正等

事務局だより

総務部長 川上 辰 幸

4月14日(木)、県生涯学習センターにおいて評議員研修会を開催し、林恭祐会長以下、新役員が選出され、令和4年度がスタートしました。また、事務局については、今年度は山田和豊事務局長と谷田久事務局次長の二人体制でお世話になっています。

5月11日(水)には、三年ぶりの開催となった「第76回定期総会並びに研究協議会」を、前橋テルサのホールにて参集型で行うことができました。総会の主な内容として、昨年度の事業及び決算等の報告に続いて、本年度の活動方針、事業計画、予算、大会宣言等が承認・採択されました。また、引き続き行われた研究協議会では、本年度の関東甲信越地区研究協議会埼玉大会での提案者である渋川市立古巻中学校の高橋充校長先生より「生徒や保護者、地域の信頼に応えられる資質・能力を備えた教員の育成と研修のあり方」と題して発表していただきました。改めて、多様化した学校課題に対応できる教員の育成の重要性を認識させられる発表でした。

5月18日(水)には、オンライン形式で「第73回全日本中学校長会総会」が開催されました。本県からは理事・代議員の5名が参加しました。新会長はじめ役員の改選、事業計画の承認等が行われた他、来年度行われる全日中大分大会の研究主題や分科会の研究題も提案されました。なお、本年10月に予定されている全日中北海道大会については、オンラインでの開催に変更する旨、北海道事務局より説明がありました。

また、6月17日(金)に行われた「関東甲信越地区研究協議会埼玉大会」もオンラインでの開催となり、本県各地区から24名の校長先生方に参加していただきました。特に分科会では、それぞれの研究協議題のもとに、熱心な議論が行われました。

引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のための対応が必要な状況ではありますが、本会としても様々に工夫しながら、可能な限り活動してまいりますので、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

全日中だより

会長 林 恭 祐

【令和4年度第1回Web理事会報告】

今年度第1回の全日中理事会が、5月17日(火)新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全日中事務局を基点として全国の理事とつなぐWeb形式で開催されました。主な内容は以下の通りです。

1 会長挨拶

「現在もコロナ禍であり心配な状況が続くが、「学びを止めない」ことを念頭に本会の活動を進めていってほしい。

2 各部・委員会報告

3 協議事項

- ①第73回Web総会関係
- ②第73回全日中北海道大会の開催について
- ③第74回全日中大分大会実施要項(案)
- ④令和4年度各部・委員会活動計画
- ⑤令和5年度文教関係立法・予算要望方針
- ⑥令和5年度各地区中学校長会研究大会
- ⑦中学校便覧第35集掲載校推薦依頼
- ⑧令和4年度年間行事・関係会合

4 情報交換(各地区ごと)

<テーマ>

「コロナ禍における生徒の不登校・自殺等に関する課題と対策」

<関東甲信越地区の主な内容>

- ①課題として多く出された内容
 - ・登校に対する本人、保護者の意識の低下
 - ・オンライン授業、進路選択の広がり等
 - ・家庭との連携の取りづらさ
 - ・引きこもりや自傷行為の増加
- ②対策として出された内容
 - ・一人一人の状況にあったきめ細かな対応
 - ・SOSの出し方の指導、受け止め方の研修
 - ・福祉部や外部機関との一層の連携

【今後の予定】

1 全日中研究協議会

- ①令和4年度 北海道大会 10/20・21
- ②令和5年度 大分大会 10/26・27

2 令和4年度理事会予定

- 第2回理事会 10/20 Web開催
- 第3回理事会 1/21 Web開催